

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターきらり		
○保護者評価実施期間	2026年3月2日		～ 2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年2月23日		～ 2026年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の提供について	支援会議や児発会議を通して、支援内容の検討・振り返りを強化した。 専門職、保育士との連携を意識し、個別療育や集団療育に取り組むことができた。	会議などは継続して取り組み、支援の向上を図る。 プログラムが固定しないよう、チームで立案し、日々ステップアップできるような活動を提供する。
2	療育室の増設、生活環境の見直し	個別療育室を1部屋増設したことで、個別療育の充実を図ることができた。	療育室(集団)はその都度見直しを行い、子どもたちが安全に過ごせる環境を作っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援計画、マニュアルに関して、保護者への周知が不十分である。	マニュアルが多数あり、全てをお知らせできていない。 園内でのみ閲覧できる状況にある。	年度初めに配布する重要事項説明に記載したり、HPに掲載したりと、いつでも確認できる体制を作る。
2	兄弟児の支援について	家族で参加できる行事は数回実施しているが、兄弟同士の交流にはつながっていない。	家族で参加できる行事は実施していき、兄弟児支援も含めた企画の検討を行う。
3			